



# パーフェクトフィラー

## 特長

## 下塗革命

— 特許出願中 —

- ・ 今までにない新しい下塗材です。
- ・ なみがた模様にした場合、従来の微弾性に比べて美しく光沢のある仕上がりが得られます。
- ・ 水性系なので環境にやさしいです。
- ・ ひび割れ追従能力にすぐれ、中性化防止に役立ちます。
- ・ 一液水性反応硬化形なので、密着性にすぐれています。
- ・ シーラーとフィラーの機能を兼ね備えているので、各種旧塗膜に直接塗装できます。

**標準塗装仕様** (塗り替え) 仕上げは下記《適用上塗り塗料》からご選択ください。

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	活膜を残し劣化塗膜は入念に除去する。ほこり、汚れを除去、清掃する。						
下塗り	ニッペ パーフェクトフィラー	1	0.20~0.45	4時間以上	水道水	3~8	ウールローラー
			0.50~0.90			1~5	砂骨ローラー
						2~5	タイルガン

※ニッペパーフェクトフィラーをローラー施工する際に、高温時や風が強い場合などの乾燥が速まるような条件下では、希釈率を上限値の範囲内で調整することを推奨します。(作業性や仕上がりの向上を更に図ることができます。)

※上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。

※上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

※旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。

※塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります。)

※吹付け施工の場合は、飛散防止のため養生を行ってください。

※塗り重ね乾燥時間は、上塗りを塗付する時間となります。

《適用上塗り塗料》	《適用下地》(塗り替え改修用)
<ul style="list-style-type: none"> <li>●パーフェクトトップ</li> <li>●ハナコレクションシリーズ</li> <li>●ファイン4Fセラミック</li> <li>●ファインシリコンフレッシュ</li> <li>●ファインSi</li> <li>●1液ファインシリコンセラUV</li> <li>●水性シリコンセラUV</li> <li>●DANシリコンセラ など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●モルタル面</li> <li>●コンクリート面</li> <li>●窯業系サイディングボード</li> <li>●ALCパネル面</li> </ul> <p>各種旧塗膜の上</p>

※新設時は下塗りにニッペ水性カチオンシーラーまたは、ニッペ浸透性シーラー(新)をご使用ください。

ペイントかわら版

読者募集!

登録無料

いまずぐご登録を。

※QRコードが読み取れない場合は、こちらにアクセスしてください。  
<http://paintkwaraban.jp/form/>



# ニッペ パーフェクトファイラー

## 塗料性状・荷姿

塗料名	色相	つや	容量	希釈剤	希釈率	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装方法	仕上げ
ニッペ パーフェクトファイラー	白	-	15kg	水道水	1~5%	0.50~0.90	砂骨ローラー	なみがた模様
					3~8%	0.20~0.45	ウールローラー	平滑
					2~5%	0.50~0.90	タイルガン塗り	ゆず肌(ライトウェーブ) 模様

・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。  
 ・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

## 乾燥時間

	5~10℃	23℃	30℃
指触乾燥	2時間	1時間	30分
塗り重ね乾燥	8時間以上	4時間以上	2時間以上

※乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

## 施工上の注意事項(詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください。)

- ・ファイラーを薄膜仕様で用いる場合には、強溶剤系塗料を上塗りするとリフティングのおそれがありますので適用を避けてください。
- ・規定の希釈率をおまもりください。過剰希釈をしてご使用になると、期待する品質が得られなかったり、塗料の分離により作業性に影響を及ぼすことがあります。
- ・開封後は、できるだけ早く使い切ってください。止むを得ず保管する際は、表面に皮が張らないようにポリエチレンシートなどで密封して冷暗所で保管してください。
- ・塗装作業を一時中断する際には、塗料を密封保管してください。また、塗料が分離することがありますので、塗料表面に水を張っての保管は避けてください。
- ・塗装に使用中のローラーなどを多量の水に漬けておくと、分離した成分が表面に浮くことがあります。その際はローラーを洗浄して、浮遊成分を十分取り除いてから塗装を再開してください。
- ・エアレススプレー塗装は避けてください。
- ・弾性塗料は塗膜が伸びるのでクラック追随性を有しますが、地震・台風・軟弱地盤など予想を越えた震動、従来の壁と違った特殊構造(特殊耐力)などにより、本来のクラック追随性を発揮できない場合があります。
- ・塗装後、養生テープはナイフカットして取り外してください。
- ・本品の上塗りに弾性適性のある上塗り以外の塗料を使用しますと、上塗り塗膜にクラックが入りやすく、付着性・耐候性などが低下しますので避けてください。
- ・絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- ・塗装後24時間以内など乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風の少ない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後拭き取って除去してください。
- ・スプレーノズルの先端は、時々水洗いをしてください。作業能率の低下および塗むらの原因になります。
- ・乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
- ・反応硬化タイプの塗料のため、使用後のはけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
- ・動物はけは、はけが固まったりダマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- ・旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこなっておく必要があります。
- ・既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- ・改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤剥れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認の上、塗装仕様をご検討ください。
- ・風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
- ・シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- ・蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、業業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階で既に旧塗膜が剥れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の剥れ、はく離が生じることがありますので、最寄りの営業所などにご相談ください。

- ・ください。
- ・素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科学社製Hi500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- ・表面のこみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- ・ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巢穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペセメントファイラー、ニッペファイラー200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。)
- ・新設ALCパネルなど表面が脆弱な素材の場合、本品の凝集力によって下地の表層からはく離する場合がありますので、本品を直接塗装することは避けてください。
- ・内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
- ・素材にセメント成分などが使われている場合は、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
- ・新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- ・塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ・屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- ・塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- ・塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分にを行い、火気厳禁にしてください。
- ・飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- ・シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプライドオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- ・塗料は内容物が均一になるようによくは混ぜてください。薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がりが不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- ・大型壁面塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- ・はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ・ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。
- ・塗装方法により色相が多少変化する場合があるので、ローラー塗りは出来る限り入り隅まで入れてください。
- ・よごれ、傷などにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- ・ローラー、ハケなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、ハジキなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- ・使用前に内容物が均等になるようによくは混ぜ、開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- ・大気中の浮遊鉄成分が多い地域では、この鉄成分が塗膜表面に付着し、塗膜が赤褐色に変色したように見える場合があります。
- ・製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

## 安全衛生上の注意事項

### ニッペ パーフェクトファイラー

- ・使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
- ・取り扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- ・必要に応じて個人用保護具を使用してください。
- ・飲み込んだ場合: 気分が悪いときは、医師に連絡してください。口をすすいでください。嘔吐したとき、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
- ・施設にて子供の手の届かないところに保管してください。
- ・内容物/容器を廃棄するときには、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- ・直射日光や水濡れは厳禁です。
- ・積み重ねは3段までとってください。
- ・粉じん、蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。

- ・本来の用途以外に使用しないでください。
- ・容器からこぼれたときには、砂などを散布した後処理してください。
- ・日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度にしないでください。
- ・容器、塗料などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

■詳細な内容、表示例以外の商品については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。  
 ■本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危険	危険有害性情報	飲み込むと有害のおそれ/発がんのおそれの疑い/生殖能力または胎児への悪影響のおそれ

## 日本ペイント株式会社

お客さまセンター  
 ☎03-3740-1120  
 ☎06-6455-9113

<http://www.nipponpaint.co.jp/>

- ・当社は2013年5月現在、ISO 14001を全事業所で認証取得しております。
- ・このカタログは再生紙を使用しています。

- 本カタログの内容については、予告なしに変更することがありますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の商品名・会社名は、日本ペイント株式会社・その他の会社、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2013 NIPPON PAINT Co.,Ltd All rights reserved.

詳しい情報はホームページで

日本ペイント 建物 検索

<http://www.nipponpaint.co.jp/biz1/building.html>

カタログNo.

NP-R020

KE130508T  
 2013年5月現在